

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月
基準日 定時株主総会 毎年2月末日
期末配当金 毎年2月末日
中間配当金 毎年8月31日（中間配当を行う場合）
（その他必要がある場合はあらかじめ公告して定めた日）
単元株式数 1,000株
（平成30年9月1日付で100株に変更しております。）
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）
公告方法 電子公告（当社ホームページに掲載）
<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場取引所市場 東京証券取引所 市場第二部

（ご注意）

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

環境方針

- 企業活動のなかで、資源の有効利用、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境に配慮した商品の提供に取り組んでいきます。
- 環境に関する法規制および当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- 環境保全のために必要な改善の継続と汚染の予防に努めます。
- この方針は、文書化して全従業員に周知徹底し、実施・維持します。
- この方針は、社内外全般に公表します。

マルヨシセンターに関する情報は、
ホームページでご覧いただけます。
<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp>



株式併合および単元株式数変更のご案内

当社は、第58期定時株主総会において、平成30年9月1日をもって当社普通株式10株を1株に併合し、単元株式数を1,000株から100株に変更することについてご承認いただきました。なお、この株式併合および単元株式数の変更に伴う株主さまによる特段のお手続きの必要はございません。

株式併合による影響

株式併合により、株主さまのご所有株式は株式併合前の10分の1となりますが、1株当たりの純資産額は株式併合前の10倍となり、株式市況の変動等の要因を別にいたしますと、株主さまがご所有の当社株式の資産価値に変動はございません。

1株未満の端数が生じた株主さま

株式併合により生じた1株未満の端数については、会社法の定めに基づき、すべての端数を当社が一括して処分し、その処分代金を、端数が生じた株主さまに対して、端数の割合に応じて分配し、平成30年11月8日に端数処分代金領収証を発送しております。

お問合せ先

株式併合および単元株式数変更についてご不明な点は、お取引のある証券会社または左記の株主名簿管理人までお問合せください。



株式会社 **マルヨシセンター**



第59期中間報告書 平成30年3月1日 ▶ 平成30年8月31日

MARUYOSHI CENTER

地域の皆さまの食生活をより豊かに、楽しく、便利にする ライフスタイル提案型スーパーマーケットを目指します。



代表取締役社長
佐竹 克彦

当第2四半期連結累計期間（平成30年3月1日～平成30年8月31日）におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、一方、実質賃金の伸び悩み、社会保険料等の負担増加などにより個人消費に力強さ、勢いのない状況が続いており、また、米中貿易摩擦問題の懸念や東アジア地域の地政学的リスクの高まり等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、競合他社の出店や価格競争が一層激化しているとともに、労働需要の逼迫に加え人件費関連コストは増加傾向にあります。さらに、生活防衛意識の高まりにより、日々の買物での低価格志向は継続しており、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

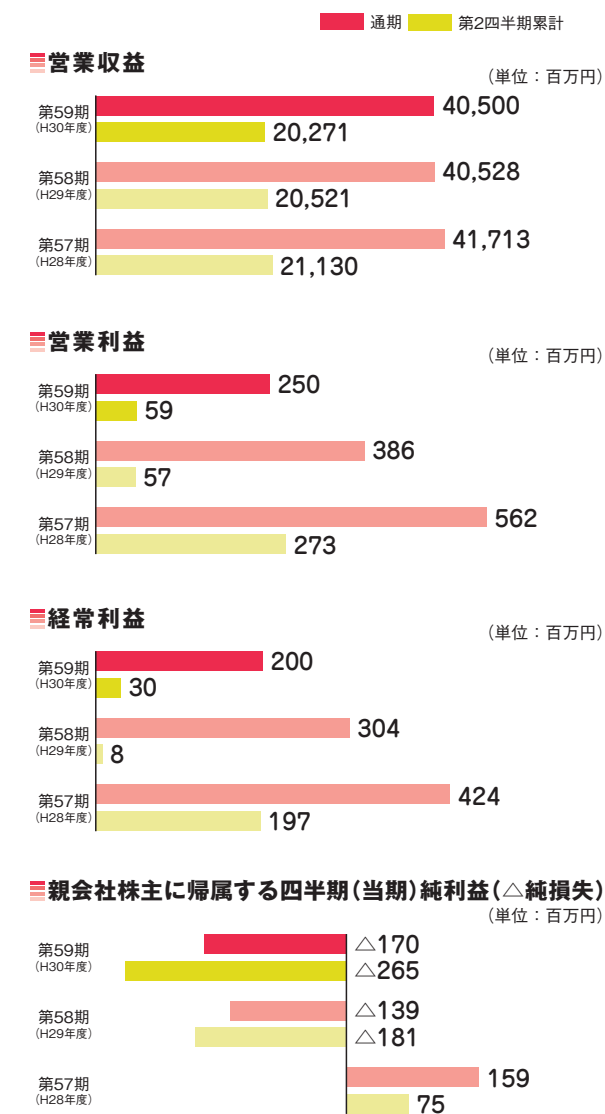
このような状況のもと、当社は、経営理念である「健康とおいしさ」のキーワードに「美容」を加え、食と美をテーマとした当社独自の商品を開発するとともに、旬の素材を使ったお弁当・惣菜類の展開を更に強化し、料理提案など魅力ある提

案型の売場作りに取り組んでおります。一方で、節約志向に対し戦略的な営業施策として「家計応援」企画（エブリデーロープライス）を強化するとともに、商圏内のシェア拡大を図っております。また、当社商圏内への競合店出店が相次ぎ、業績への影響が拡大していることから、効率化を目的とした企業体質の改善に着手いたしております。縮小する商圏や異業種間の競争に対応するため、店舗規模の縮小化を図り、地域や店舗の特性に合った商品を選択し集中的に品揃えすることで、競合他社との更なる差別化を進めており、新しいモデル店舗（グランデリーズ）を確立すべく、平成30年4月に2号店となるグランデリーズ飯山店（香川県丸亀市）を出店いたしました。

このような取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は196億7百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は59百万円（前年同期比2.5%増）、経常利益は30百万円（前年同期比243.2%増）となりました。また減損損失3億39百万円の計上等により親会社株主に帰属する四半期純損失は2億65百万円（前年同期は1億81百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

平成30年11月

財務ハイライト（連結）



※第59期通期については、予想数値であります。

Top Message

株主の皆さまには、日頃より格別のご支援を
たまわり、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第59期第2四半期連結
累計期間（平成30年3月1日から平成30年8月31
日まで）の事業の概要と決算につきましてご報
告申し上げます。



特集① グランデリーズ飯山店 新規OPEN!

当社初のNSCメルカドール丸亀に グランデリーズを展開。 もっと便利で、もっと楽しい 新しいスーパーマーケットを目指します。

地域のお客様の新しいニーズにお応えできるよう、
新たなマーチャライジングを取り入れ、
お買物がより楽しくなるお店を目指しました。



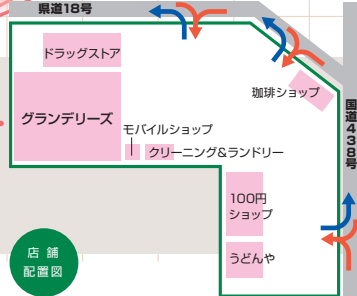
ちびっ子に
大人気!
Mr.ポーノ登場



オープンを記念し、
テープカットを
行いました

NSC (ネイバーフッドショッピングセンター)

食品スーパーを核とし、フリースタンドイングのドラッグストアやホームセンター、飲食店などをテナントとして持つ、近隣住宅街などの商圏をターゲットにしたSC(ショッピングセンター)です。複数業態を集めることで、より広い地域からの集客が望めます。



グランデリーズ飯山店の売場

マルシェスタイルの楽しさと
新たな食の発見を併せ持つ売場が出来上がりました。

◆ 鮮魚 ◆



魚屋さんの寿司



クイックディッシュ

◆ 青果 ◆



オープンな作業場



産直コーナー

◆ 精肉 ◆



精肉売場



牛肉の提案

◆ デイリー ◆



地元商品



地元専門店スイーツ

◆ グロサリー ◆



オーガニックフーズ



地元商品

◆ 惣菜 ◆



鉄板焼



和惣菜

◆ 100円ベーカリー ◆



ベーカリー売場



人気のパーガー

◆ イートインコーナー ◆



コーヒーマシン



おしゃれなカフェスタイル

「グランデリーズ飯山店のイベント」

「健康とおいしさ」をテーマに多彩な催しを開催しました。



料理研究家・山中美妃子先生による料理教室
アジアン屋台料理

山中先生が家庭で簡単に作れるアジアン料理をレクチャー。下処理の仕方や調理のコツなど、すぐに実践できる技も披露してくださいました。



クッキングスタジオ
紅茶教室

ご自宅で手軽に色々な種類の紅茶が楽しめる教室を開催しました。紅茶の産地や歴史、スイーツとの相性などを説明し、参加された皆様に自社製のスイーツなどとの食べあわせを体験していただきました。



講師の紅茶アドバイザーから、紅茶の産地や茶葉の特徴やその歴史、また合わせやすい食べ物について分かりやすく説明していただきました。

自社製「おはぎ」や「パウンドケーキ」、「いなりずし」との食べあわせを体験していただき、新しい組み合わせを楽しみました。



スパイシーな味が決めるアジアンカルパッチョ



揚げたてがたまらない鶏の手羽先の甘辛だれ



特集② マルヨシセンター満濃店 リニューアルOPEN!

満濃店は地域のお客様にとって、より便利で快適な売場に生まれ変わりました。

お客様がより買い回りがしやすいレイアウトに変更し、新たに提案型売場を導入することで、より快適な楽しい売場になりました。

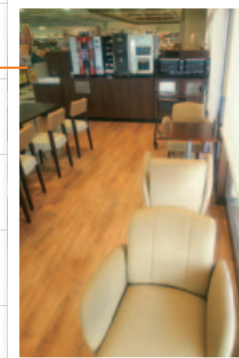


ドラッグストアをテナント誘致

新たにドラッグストアのテナントを誘致。地域のお客様の利便性向上とターゲットの拡大を図りました。

イートインコーナーを新設

地域のお客様の憩いの場として、新たにイートインコーナーを設置。コーヒーコーナーを設け、カフェニーズにも対応しています。



精肉 こだわり牛肉

惣菜 健康弁当

青果産直コーナーと惣菜売場を拡張。こだわり品売場を導入

お客様のニーズが高いカテゴリーを拡張、提案型売場を導入し、店舗のこだわりを見える化しました。



海産物 まくらコーナー



青果 産直コーナー





第2四半期連結財務諸表（要約）

第2四半期連結貸借対照表（単位：千円）

科目	当第2四半期連結会計期間末 (平成30年8月31日現在)	前期末 (平成30年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	3,159,402	2,922,417
固定資産	14,560,199	14,298,776
有形固定資産	12,163,796	12,000,312
無形固定資産	508,051	471,998
投資その他の資産	1,888,350	1,826,466
繰延資産	4,694	1,732
資産合計	17,724,296	17,222,925
負債の部		
流動負債	7,296,458	7,509,896
固定負債	8,710,636	7,712,329
負債合計	16,007,095	15,222,225
純資産の部		
株主資本	1,601,962	1,890,440
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	813,528	813,528
利益剰余金	224,918	513,396
自己株式	△ 514,482	△ 514,482
その他の包括利益累計額	△ 13,373	△ 11,352
その他有価証券評価差額金	△ 8,202	△ 4,057
退職給付に係る調整累計額	△ 5,170	△ 7,294
非支配株主持分	128,612	121,611
純資産合計	1,717,201	2,000,700
負債純資産合計	17,724,296	17,222,925

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結損益計算書（単位：千円）

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成30年3月1日から 平成30年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成29年3月1日から 平成29年8月31日まで)
売上高	19,607,318	19,858,206
売上原価	14,852,134	15,185,294
売上総利益	4,755,183	4,672,911
その他営業収入	664,287	663,384
営業総利益	5,419,471	5,336,295
販売費及び一般管理費	5,360,376	5,278,663
営業利益	59,094	57,632
営業外収益	24,305	16,025
営業外費用	52,979	64,795
経常利益	30,420	8,863
特別利益	—	3,760
特別損失	363,035	186,724
税金等調整前 四半期純損失(△)	△ 332,615	△ 174,101
法人税、住民税及び事業税	23,196	26,643
法人税等調整額	△ 97,071	△ 29,086
四半期純損失(△)	△ 258,740	△ 171,657
非支配株主に帰属する 四半期純利益	6,969	9,458
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△ 265,710	△ 181,116

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

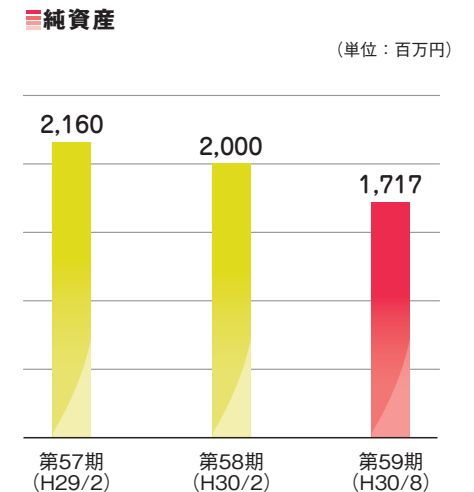
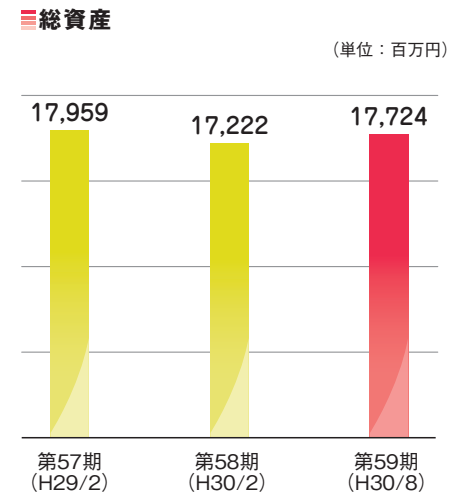
第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書（単位：千円）

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成30年3月1日から 平成30年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成29年3月1日から 平成29年8月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	914,157	977,273
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 853,850	△ 191,085
財務活動による キャッシュ・フロー	17,383	△ 519,620
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	77,689	266,567
現金及び現金同等物の 期首残高	1,004,681	1,049,352
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,082,371	1,315,920

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結子会社の概要（平成30年8月31日現在）

株式会社フレッシュデポ	資本金：50,000千円
	事業内容：食品製造業
	議決権比率：100%
株式会社レックス	資本金：360,000千円
	事業内容：物流センター運営業
	議決権比率：70.0%



■ 期末
■ 第2四半期末

株式の状況

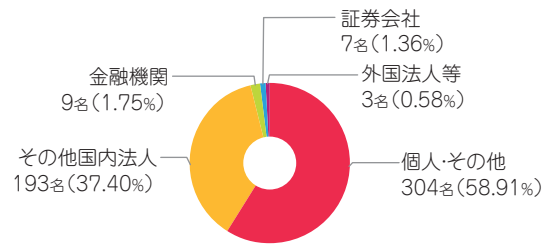
1) 発行可能株式総数	21,750,000株
2) 発行済株式の総数	8,749,990株
3) 株主数	516名

大株主(上位10名)

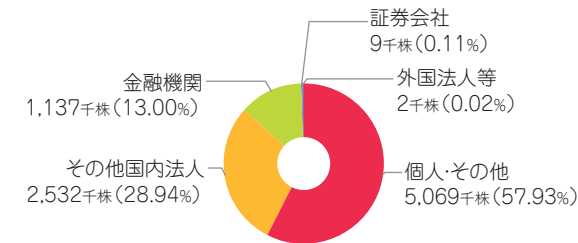
株主名	株式数(株)	出資比率(%)
佐竹 睦子	925,000	10.57
マルヨシセンター取引先持株会	765,000	8.74
有限会社 佐竹興産	499,000	5.70
株式会社 百十四銀行	379,000	4.33
株式会社 阿波銀行	379,000	4.33
マルヨシセンター従業員持株会	280,391	3.20
佐竹 克彦	258,000	2.94
黒田 泰弘	244,000	2.78
ロージー 美佳	170,000	1.94
損害保険ジャパン日本興亜 株式会社	150,000	1.71

(注)当社は自己株式1,160,550株を保有しておりますが、上記の大株主には含めておりません。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



会社概要

社名	株式会社マルヨシセンター
設立	昭和36年3月
本店の所在地	香川県高松市南新町4番地の6
資本金	1,077,998千円
事業内容	スーパーマーケットおよびレストラン
店舗数	スーパーマーケット37店舗 レストラン1店舗
従業員数	458名 (ほか、パートタイマー1,235名 [8時間換算])

取締役・監査役

代表取締役社長	佐竹 克彦
取締役副社長	伊東 栄治
取締役副社長	加藤 宏道
取締役	小笠原 将仁
取締役	大下 秀樹
常任監査役	多田 好克
監査役	五十嵐 正昭
監査役	川東 祥次

(注)大下秀樹は社外取締役、五十嵐正昭および川東祥次は社外監査役であります。

会計監査人

太陽有限責任監査法人
(注)平成30年7月2日付をもって優成監査法人は太陽有限責任監査法人と合併し、名称を太陽有限責任監査法人に変更しております。

香川県

スーパーマーケット店舗

- ・善通寺店
- ・内海店
- ・土庄店
- ・かたもと店
- ・池園店
- ・片原町店
- ・川東店
- ・グランデリーズ飯山店
- ・グランデリーズ太田店

レストラン店舗

- ・三木店
- ・西町店
- ・国分寺店
- ・鶴音寺店
- ・鶴市店
- ・高瀬店
- ・満濃店
- ・松縄店
- ・牟礼店
- ・香川町店
- ・木太店
- ・馬場病院店

・ミケイラ

兵庫県

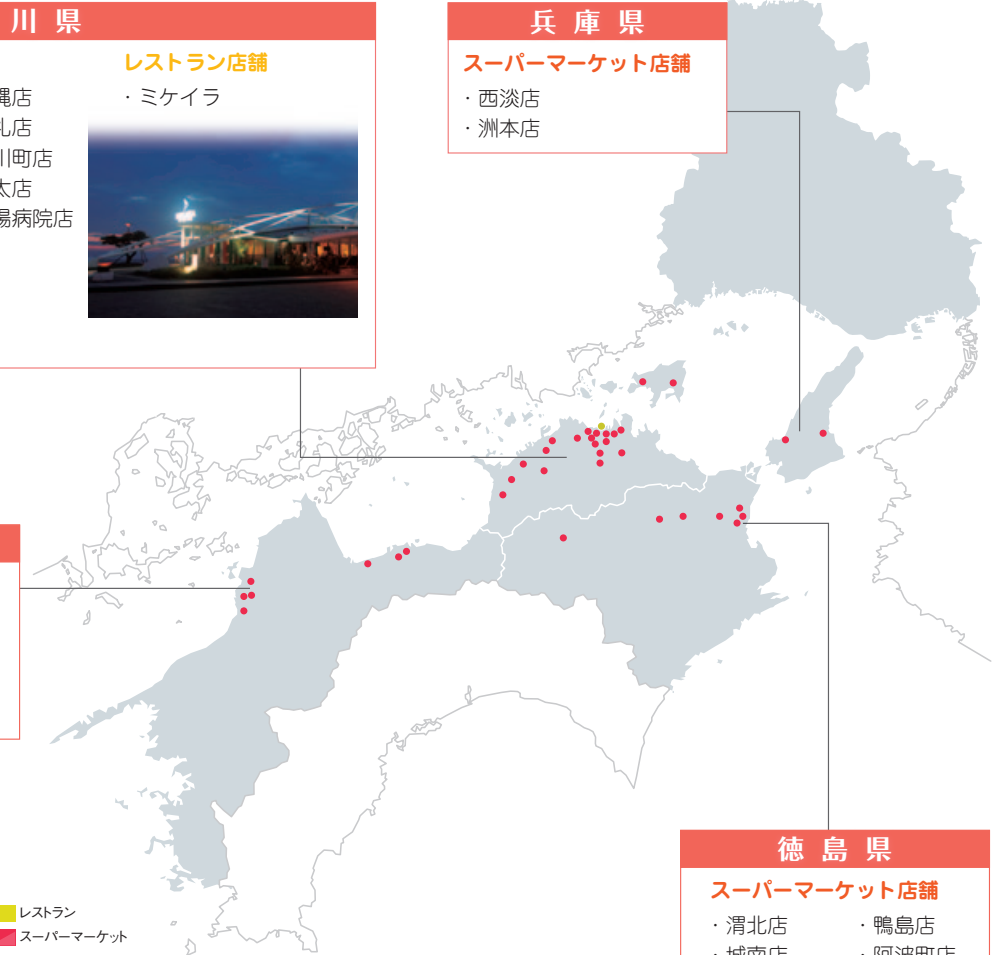
スーパーマーケット店舗

- ・西淡店
- ・洲本店

愛媛県

スーパーマーケット店舗

- ・新居浜店
- ・新居浜東店
- ・椿店
- ・伊予店
- ・余戸店
- ・山越店
- ・西条店

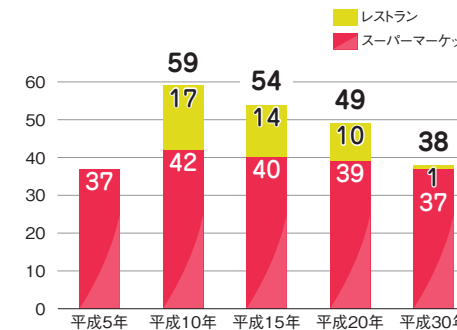


徳島県

スーパーマーケット店舗

- ・滑北店
- ・城南店
- ・国府店
- ・八万店
- ・鴨島店
- ・阿波町店
- ・三加茂店

店舗数の推移



● レストラン店舗
● スーパーマーケット店舗